

新町小学校だより

～かしこく ころろゆたかに

たくましく 生きる新町の子～

第5号

令和3年6月16日

津市立新町小学校

Tel 059-228-5125

「運動会が終わってさびしいです」

～学校行事の大切さ～

春の運動会が終わって、2週間余りが過ぎました。運動会が終わった後の子どもたちの日記を見ると、どの子も運動会に向けて一生懸命に練習し、当日は精一杯の力を出し切ったことで「楽しかった!」「やり切った」という思いにあふれていました。



だんだんと出番が近づいてくるドキドキ感、震える手で出発の鉄砲や放送のマイクを握る緊張感、みんなと息があった時の一体感や上手く出来た時の爽快感、そして終わった後の達成感や寂りょう感…これら様々な感覚や思いは、学校行事を通して体験することが多く、改めて学校行事は子どもたちにとって欠かせないものだ実感しています。下にある子どもたちの日記がそれを教えてくれました。

～児童の日記より～

ぼくは、今日の運動会を楽しみに待っていました。昨日は大雨だったので運動会ができるかどうか心配でした。朝起きたら晴れていて嬉しかったです。ダンスではちょっとまちがえたけど、楽しく踊れました。玉入れでは5こ玉を入れました。最後の結果発表を聞くときはドキドキしました。

運動会が終わってしまってさびしいです。3年生の運動会も楽しみです。（2年生）

ぼくは、運動会をすごく楽しみにしていました。まず最初に綱引きをしました。白組に負けてしまいました。次の徒競走が一番楽しみでした。友だちに勝ちたいと思っていました。

そして、自分の出番がきた時、みんなが応援してくれました。運動会で初めて感動しました。順位は2位でした。そして最後はダンス、行進、旗でした。ダンスが一番楽しく踊ることができました。たぶんこの運動会を誰よりも楽しむことができたと思います。（5年生）

私は、運動会で表現が一番心に残っています。理由は、運動会最後の表現だったからです。「最後だから、しっかりやらなきゃ。」と思いながらやりました。でもフラッグくらいから「あー最後か。さみしいな。」とか思い始めて、退場の曲が流れ出したころには、もう目がうるっとしてきてしまいました。ほかにもいろんなことがありましたが、思い出に残るいい運動会になりました。（6年生）

